

第3回災害対策プレゼンテーション 八潮中央総合病院

1月28日（火曜日）午前10時頃、県道松戸草加線中央一丁目交差点（住所：二丁目487付近）において、陥没事故が発生しました。事故対応と今後の対策の為、自施設の備えと八潮陥没事故について発表しました。

当院では災害が発生した際に院内で円滑な医療体制を確保するために日頃から災害訓練を実施しております。今回の事故発生時にスタッフ間の情報共有・連携を図り、早期に当院の被害の確認、患者様との連絡、送迎バスの調整を行い、患者様に影響を与えることなく透析治療を実施することができました。

今回の事故で災害は自分の身の回りにも起こり得ることを実感しました。いつどこで災害が起きても対応ができるように災害対策マニュアルの見直しや災害訓練を大事にしていきたいと思います。これからも二次救急医療機関として患者様が安心して医療を受けられるよう地域医療に貢献したいと考えます。

八潮中央総合病院 主任 佐藤穂高 北海道科学大学出身



大規模災害訓練

目的・・・大規模災害が発生した際に院内で円滑な医療体制を確保する。

院長をはじめ医師、看護師などすべての部門のスタッフ総勢200人以上が参加。

臨床工学技士も患者様に迅速な処置を行えるようME機器の準備と装着を実施。

2025年4月26日大規模災害訓練

テーマ：災害診療に移行後、各エリアの設置、トリアージ、エリアでの診療を、想定患者100名対象やってみよう！！

